

和 気 品
合 魄 位

高島市立マキノ中学校

学校だより



文責：校長 清水

羽ばたけ、未来へ～ご卒業おめでとうございます～

3年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。皆さんの入学式の日、桜が満開でした。コロナ禍で制限がある生活を送っていましたが、令和5年5月8日から5類に移行し、少しずつコロナ禍前の生活に戻り、卒業式を迎える日までできました。

この3年間で振り返ると、学校施設では、プールや寄宿舎、給食センターがなくなりました。令和10年度マキノ3小学校の統合に伴い、令和9年度本校の増改築が始まります。

学校生活では、令和5年度から新しい制服を採用したり上履きを選択したりするようになりました。自分に合ったものを選んでいく姿が見られます。

授業においては、一人1台のタブレット端末を活用して考えを交流したり必要な情報を調べ取り出したりする学習が定着してきました。なかでも、令和4年度開催した近畿道徳教育研究発表大会、令和6年度滋賀県国語教育研究大会、数学における单元内自由進度学習研究協力等、生徒が主体となる学習へと、この3年間で進んできたと思います。他地域から参観に来られた先生が、「授業中、熱心に取り組んでいますね」「考えたことを伝えたり聞いたりして感心しました」等の言葉をいただきました。

マキノ中学校区における学習として、保育実習、小学生等を招いたマキノ祭、小学生への読み聞かせボランティア、小学生へのマラソン大会・陸上練習の支援、

オンラインによる児童生徒の交流等に取り組みました。思いやることを大事にして接する生徒の姿に、ほほえましく感じていました。また、子ども民生委員活動や地域貢献活動においては、「中学生がいて助かった」、「『何かすることはありますか』と中学生がスタッフに声をかけてくれる」等、賞賛される方もおられ、誇りに思います。さらに、「挨拶をよくしてくれる」という地域の方からの声もあり、うれしい限りです。

生徒会活動においては、令和6年度生徒会スローガン「飛笑」をもとに、一人ひとりの笑顔を大事にしたいという思いを込めて活動していました。その象徴として、全校一丸となって披露した体育祭のダンス、一人ひとりが担当して完成させた文化祭での全校壁画。そこに、チームワークを大事にする生徒会の思いがあふれていたと思います。

さて、3年生は明日の卒業式から、それぞれの道を歩みだします。「品位」ある言動を心がけ、「気魄」をもって挑戦し、「和合」を胸に睦まじく、自分自身で自分の道を切り拓いていくことを願っています。また、「思いやりの心」「粘り強さ」「自分で考え判断し行動すること」を大事にして、自分の人生を歩むことを希望しています。

また、1、2年生は次のステップに進んでいきます。中学卒業後を見据えて、「今」できることを地道に行い、力を付けてほしいと願っています。